

ごあいさつ

地域の医療機関、施設職員の皆様には平素より当院の医療連携にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
現在我が国では、超高齢社会が急速に進展しており、当然ながら仙南地域においても高齢独居者、セルフ・ネグレクト状態にある高齢者が増えております。いわゆる「高齢弱者」の増加です。

地域包括ケアシステムは、「要介護の状態になっても、可能な限り住み慣れた地域や自宅で、その人らしく生活を続けられるよう、地域ぐるみで支えるシステム」です。私たち地域医療連携課は、前方支援として事務員2名、後方支援として医療ソーシャルワーカー3名、看護師1名を配置しております。私たちが目指す連携の姿は、近江商人の「三方よし」です。「売り手よし・買い手よし・世間よし」です。私たちに例えれば「患者よし・機関よし・地域よし」となりましょう。私たちは、患者さんが望んだ生活の場へ速やかにお返しします。それが在宅であったり、他院であったり、施設であったりします。患者様がスムーズに受診・入院・転院・退院できますよう、医療機関・介護施設・行政を繋ぐ潤滑油の役割を担っております。とはいえ、発足してまだ4年弱の部門ですので、試行錯誤の毎日ですし、反省の毎日です。

このたび、院外向けの広報誌を発行することになりました。これはプレ創刊号です。今後は継続して、定期発行の予定でございます。名前はまだまだありません。「三方よし」も悪くないかな...と思いつつ原稿を書いています。時には、皆様方のところへお邪魔させていただくこともあるかと思います。今後、皆様が発行を待ち望んでいただける広報誌にしていきたいと考えています。

顔の見える連携課、腹を割って話せる連携課を目指しております。どのような案件でも是非、TEL0224-22-2560へお電話をいただければ幸いです。お待ちしております。

今後とも大泉記念病院地域医療連携課をよろしくお願い致します。

お知らせ

▶▶ 紹介状の宛名について

2021年4月1日より、当院理事長・院長の松本純が院長職を退き、理事長として職務に専念致します。つきましては、現在松本純宛の紹介状は今後、新院長の福島浩平宛にてご紹介いただきたく存じます。

▶▶ 当院外来へ患者紹介される場合

ご紹介いただいた患者様が、スムーズに受診できますよう、事前に紹介状と保険証の写しをFAX(0224-22-2580)にてお願い致します。また患者様には、一度当院へ電話連絡をいただけますようお願いいたします。

▶▶ 連絡先

平日：9：00～12：00 / 13：30～17：00
土曜：9：00～12：00（休日、祝祭日、年末年始の休診日を除く）

TEL：0224-22-2560（直通）
FAX：0224-22-2580

地域に寄り添う、健康サポーター



〒989-0731 宮城県白石市福岡深谷字一本松5-1
TEL 0224-22-2111（代表） FAX 0224-22-2580
http://www.ooizumi.or.jp

大泉記念病院

広報誌

2021.03.
vol.00

新体制記念プレ創刊号



院長
福島 浩平
ふくしま こうへい

2021年4月1日より院長職を交代します。松本先生には、理事長先生として診療を継続されます。これからも大泉記念病院設立の精神を遵守し、地域医療に少しでも貢献できるよう努力と工夫を積み重ねてまいります。

診療科 外科

出身校 東北大学（1984年卒）

学会・専門医等

日本大腸肛門病学会専門医

日本消化器病学会専門医（財団評議員）

日本外科学会認定医

消化器がん外科治療認定医

難病指定医

ごあいさつ

この春より、大泉記念病院に院長として着任いたしました。実は、松本理事長が赴任される少し前、1988年か89年だったかと思いますが短期間勤務させていただいたことがあります。亡くなられた高橋孝先生が、実際に病院に住みながら地域医療に従事されていたことが非常に印象的でした。

私は、1984年に東北大学医学部を卒業し、岩手県奥州市にある総合水沢病院の外科で初期研修を行いました。冬場には宿舍の水道、トイレから風呂の水まで凍って、氷を解かそうとして風呂釜に点火したところポカンと爆発したり、病院の医局に洗濯物を干して怒られたり、懐かしい思い出です。

2年程で大学に戻り、松本先生と同じ第1外科に入局させていただきました。以後、3年半の米国留学期間を除いて、30年もの長期間に渡って大学で診療・研究に従事したことになります。入局当時、こうなるとは思いもしませんでした。専門は、難病である潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患の外科治療ですが、その関係で人工肛門の管理などにもかかわってきました。

新型コロナウイルス感染症によって、世界中の人々が大きな制約の中で暮らしています。私の大きな楽しみであった「もつ焼き屋さんで一杯飲みながらくだを巻く」ことも思うようにはいきません。地域の病院でも、患者さんやその家族の皆さんに様々なお願いをしなければなりません。幸いなことに、まだまだ不十分とはいえ新型コロナウイルス感染症に対する対処法が少しずつわかりつつあります。

これからの地域医療は、高齢化や過疎化、経済の停滞を背景に必ずしも順風満帆という訳にはいかないかもしれません。その中であって、地域の諸先生方の助けをお借りしながら、職員とともに皆さんの健康維持・増進に少しでも貢献できるよう努力と工夫を積み重ねていきたいと思っています。



理事長
松本 純
まつもと じゅん

大泉奏(すすむ)先生が当院を起業して140年にあたる今年に、新しい院長、3人の副院長の体制で仙南の地域医療に対してこれまで以上に努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

福島浩平新院長は東北大学の教授をされていたので、専門の消化吸収、免疫学の分野はもちろん、当院および仙南地区をアカデミックに指導くださることになっております。外科八巻孝史副院長は外科全般、内視鏡およびカテーテル技術のエキスパートであります。内科矢嶋幸仁副院長、神田暁郎副院長は、循環器小岩喜郎先生、呼吸器中村雅夫先生、緩和医療在宅医療佐々木幸則先生と一緒に、多様化する患者様に対応されます。諸先生への暖かいご支援とご紹介をお待ちしております。

Profile



副院長
八巻 孝史
やまき たかし

診療科 外科

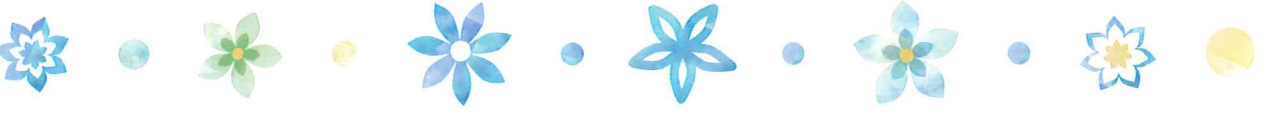
出身校 山形大学 (1992年卒)

学会・専門医等

- 日本消化器外科学会
- 日本腹部救急医学会
- 日本褥瘡学会
- 日本臨床栄養代謝学会
- 日本外科学会専門医
- 日本消化器外科学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本医師会認定産業医
- 日本医師会認定健康スポーツ医

ひとこと 外科、消化器科系総合診療を担当しております。地域に根ざし、当院に期待される役割分担を果たせるよう頑張りたいと思います。

趣味・特技 日々の犬の散歩、時々山歩き



副院長
矢嶋 幸仁
やじま ゆきひと

診療科 内科

出身校 東北大学

学会・専門医等

日本プライマリケア連合学会 ほか

ひとこと これからも地域医療に努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

趣味・特技 読書

Profile



副院長
神田 暁郎
かんだ あきお

診療科 内科

出身校 東北大学医学部 (1994年卒)

学会・専門医等

- 日本内科学会認定内科医、総合内科専門医
- 日本呼吸器学会、呼吸器専門医
- 日本医師会認定産業医

ひとこと ていねいな診察と説明を心掛けて診療にあたります。今後もより良い医療を提供できるように努力してまいります。

趣味・特技 旅行、映画鑑賞

